

## 設立趣旨書

### 1 趣旨

現代の社会は、産業化、都市化、情報化され、複雑化、高速化、高緊張化した環境の下で、大人も子どもも大きなストレスを抱え、心身の健康が脅かされつつある生活を多くの人々が送っている。

子どもたちの自然体験不足や生きる力をどう育むか、といった課題が叫ばれて久しいが、自然の中で十分に遊ぶ経験をしないまま大人となり、親となり、子どもたちをどのように遊ばせ、育てていけばいいのかと子育てに悩み、子どもたちも成長期に自らの感覚を思い切り使うことなく過ごし、親子ともに行き詰りがちな社会環境になっているように思われる。

このような社会において、雄大な自然の中で人間的なふれあいを通して、自然への志向や健康への志向、人格向上への志向を意識し、現代社会における諸特性に対してこれに対応できる力を蓄え、人間本来の生活力を培うことによって課題を解決していく力を身につけていきたいと考える。

子ども時代の直接体験はその時の発達力になっているばかりではなく、長い期間にわたり、生涯を通じてその人の生きる力になると言われている。さまざまな課題に対して、知識や理論だけではなく、自分で考え、判断し、行動していくためには知識や理論の学習の前提として、豊富な体験を経る中で豊かな感性を培うことが必要である。子ども時代に多様な自然の中で五感を使って遊んだ直接体験があってこそ、体力、思考力、判断力、創造力、表現力などの実践的な力が構築され、それが生きる力となり、人間形成にも大きな役割を果たすと考える。

近年、不登校やひきこもりが社会の大きな課題となっている。学校の問題も大きいですが、幼児期の過ごし方や親子関係の構築にも要因があるとも思える。また、山梨県内には不登校やひきこもりの人々を支援したり、出かけていったりすることができるような場所が少なく、社会との関わりを再構築していくための機会に乏しい現状があると思われる。当団体では、自然の中でのんびり過ごしたり、農作業をしたり、生産物を販売したり、また幼児から高齢者まで幅広い年齢やさまざまな世界をもつ人々とふれあったりすることによって、少しずつ社会への接点をつくりなおしていけるような機会を提供したいと考えている。

山梨県は豊かな自然に恵まれ、子どもたちが思い切り遊ぶに適した環境があるが、多くの人々は身近にそのような自然があることに気づいていなかったり、また自らが経験したことがないために、どのように自然の中へ入っていけばいいのかわからないという声もよく耳にする。

山梨県では、県内への移住希望者が多いという面がありつつ、しかしながら県の人口は減り続けている。山梨の自然資源を生かした活動を行うことによって、地域の活性化や人口減対策にも取り組んでいきたいと考える。

山梨の豊かな自然の中で共に育ち合えるような場をつくっていくことを通して、山梨の魅力を内外に発信し、自然の教育力、自然の癒し、自然の恵みを生かし、また持続可能な多様な社会をつくっていくための取り組みを広げていくために、当法人を設立いたします。

### 2 申請に至るまでの経過

当団体は、平成20年より野外保育や自然体験教室の開催を行ってきた。自然の中で遊ぶことはすべての子どもたちの成長にとって保障されるべき権利であり、自然の恵みを受けて生きていくことはすべての子ども・大人にとって何ものにも代えがたいものであると思われる。そのため、より多くの市民に山梨の自然とともに心豊かな暮らしを提案していくために、補助金申請なども行い、運営を安定させ、また社会のさまざまな課題に取り組み、社会的信用を得て、より社会に貢献できるような団体となるため、NPO法人の認証を協議し、理事会、設立総会を経て、申請をするに至った。

令和8年 1月 30日

特定非営利活動法人やまなしにこにこ森の共育舎

設立代表者 住所

氏名 若杉 純子